

令和6年度都立八王子東高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	難関国公立大学合格に見合う学力の養成。	1, 2年での上位者下位者それぞれに向けた講習の実施。3年次での志望大学に併せた個別指導や講習の実施。	三年間を通じ探究的な学びを中心に据えることで、知識偏重ではなく、様々な視点から思考を重ねる機会を授業に設定する。
地歴公民	①問題演習量の確保。 ②マーク式の出題形式に不慣れな生徒への対応。 ③理系生徒の学習態度・学力の維持。	①・②については、春期、夏期、秋期、冬期講習を通して問題演習量を増やすことで解決を図りたい。特に、参加する生徒数を確保することが求められるため、進路指導部や3学年の協力を得ながら実行に移していきたい。③については個々の生徒に対応する必要があるため、3学年の担任と綿密に情報を共有しながら、きめ細やかな対応に努める。	各講習では、共通テスト対策から難関国公立大学の論述対策まで幅広く実施し、生徒のニーズに沿った学習機会を提供する。1・2年生に対しては、フィールドワークの機会を複数設けることで、授業では体験できない学びを提供する。
数学	新カリキュラムにおける観点別評価を適切に行っていく。新共通テスト入試に向けた授業での取り組みを実践していく。	テスト小問に観点を振り分け、正答率や得点分布を作成し、科内で共有している。	観点別評価に関しては、パフォーマンス課題を單元ごとに設定し、主体的に学習に取り組む態度の評価に繋げている。
理科	基礎科目、発展科目、演習科目それぞれの適切な観点別評価の実施。	基礎科目・発展科目・演習科目と物理・化学・生物のそれぞれの特性をもとに教科会だけではなく、日頃から情報交換とディスカッションを行う。	探究的な学びを教科としても一層進められるよう、探究科目(探究基礎・課題探究)との関連も意識する。
保健体育	初動・能動・躍動を意識して活動する。	初動・能動・躍動をスローガンとし、オリエンテーションで意識づけをする。動き出し、主体的な活動、積極的な活動ができるように促す。	競争や協働の場を作り、その経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす等の意欲を育てる。
芸術	他者と協働しながら芸術の諸活動における自己理解能力の向上を図る。	演奏、制作、鑑賞の創造的活動を通して根拠に基づいた批評能力を培う。	歴史的・社会的背景を含む作品の深い理解を目指し、探究的問いを立てながら創造性の向上を目指す。
英語	難関国公立大・難関私大を希望進路とする生徒の志望を実現可能にする英語力の養成。	難関国公立大・難関私大の読解問題に対応する実力を養成するために、その下地として1, 2年次からの語彙・文法・文構造、文章構成に関する知識の習得の中で音読練習や聴解訓練と連動させながら身に付けていく。	1年次の英語探究において4技能を連動させた活動や口頭発表、グループワークなどを通じて英語の運用能力を高めていく。2, 3年生においては自由英作文の指導などを中心に英語による自己表現活動なども行っていく。
家庭	衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けさせる。	各授業において、主体的に考えられる設問を設定するなどした。	生活を自ら営む技術を身に付けるため、各技能で各自、応用・発展できる幅をもたせる。
情報	令和7年度共通テストに向け、問題を解く力の向上。	授業内の練習問題取り組み時間を増やした。	例題や練習問題から、その単元の新出単語を理解し、既習内容を踏まえて説明ができるようにした。
探究	(1)新学習指導要領の理念に即した教科間連携による探究活動の充実 (2)実際に足を運ぶ・本物に触れる・会う・手を動かす活動の促進 (3)問いの深まり方向への鋭角化の促進 (4)進路指導との連携体制の確立 (5)探究的・協働的学習環境の整備	・データサイエンス講座をはじめとした教科横断的授業やフィールドワーク等の充実 ・「質問シャワー」の運用場面の明確化 ・各種事業を活用したフィードバック・体験講座の充実	・高大連携事業への生徒の積極的派遣 ・外部連携型講座の必修と校外発表会参加の指導 ・推薦型・総合型選抜を見据えたコンテスト等の紹介